

〔42 釈 文〕新田郡境村ほか大雨洪水にて諸作物皆無報告

(天明六年：一七八六)

乍レ恐書付を以奉ニ申上一候

一上州新田郡境村・女塚村名主・組頭・百姓代奉ニ申上一候、

当七月上旬より雨降り続キ、別而十三日大雨ニ而、十四日・十五日・十六日

利根川并ニ粕川・早川・永溝川満水仕、一面ニ押開キ

田畑諸作不レ残皆無ニ相成リ、惣百姓一同難儀至極仕候、

依レ之乍レ恐両村名主・組頭・百姓代連印を以御願

奉ニ申上一候、以上

上州新田郡境村

名主

幸

助

天明六年七月

組頭

仙右衛門

百姓代

忠左衛門

同国同郡女塚村

名主

六郎左衛門

組頭

平左衛門

百姓代

八郎左衛門

遠藤兵右衛門様

御役所

【42読み下し文】

恐れ乍（なが）ら書付を以（もつ）て申し上げ奉り候

一上州新田郡境村・女塚村名主・組頭・百姓代申し上げ奉り候、  
当七月上旬より雨降り続き、別て十三日大雨にて、十四日・十五日・十六日

利根川並びに粕川・早川・永溝川満水仕り、一面に押し開き  
田畑諸作残らず皆無に相成り、惣百姓一同難儀至極仕り候、  
これに依り恐れ乍ら両村名主・組頭・百姓代連印を以て御願ひ  
申し上げ奉り候、以上

上州新田郡境村

名主  
幸助

天明六年七月

組頭  
仙右衛門

百姓代  
忠左衛門

同国同郡女塚村

名主  
六郎左衛門

遠藤兵右衛門様

御役所

組頭  
平左衛門  
百姓代  
八郎左衛門